

2019 年度
社会福祉法人ファミリーケアサービス
事業報告

目次

事業報告

社会福祉法人ファミリーケアサービス	…p3
すこやか横手	…p3 ~ p5
特別養護老人ホームすこやか横手	
ショートステイすこやか横手（介護予防）	
ケアハウスすこやか横手	
老人介護支援センターすこやか横手	
すこやか横手居宅介護支援センター	
デイサービスセンターすこやか横手（第1号通所）	
すこやか横手ホームヘルパーステーション	
すこやか大雄	…p5 ~ p6
特別養護老人ホームすこやか大雄	
ショートステイすこやか大雄（介護予防）	
老人介護支援センターすこやか大雄	
すこやか森の家	…p6 ~ p7
特別養護老人ホームすこやか森の家	
ショートステイすこやか森の家（介護予防）	
デイサービスセンターすこやか森の家（第1号通所）	
シルバードームいきいきの郷	…p7 ~ p9
特別養護老人ホームシルバードームいきいきの郷	
ショートステイシルバードームいきいきの郷（介護予防）	
デイサービスセンターシルバードームいきいきの郷（第1号通所）	
増田町居宅介護支援事業所	
増田町在宅介護支援センター	
すこやか館合	…p9 ~ p10
特別養護老人ホームすこやか館合	
ショートステイすこやか館合（介護予防）	
小規模多機能型居宅介護事業所すこやか館合（介護予防）	
居宅介護支援事業所すこやか館合	
児童発達支援事業「モモの家」	…p10~ p11
県南愛児園「ドリームハウス」	…p11
横手市サンハイム	…p11~ p12
障害者支援施設「ひまわり社」	…p12

事業報告（統計資料）

すこやか横手	…p15 ～ p17
すこやか大雄	…p18 ～ p19
すこやか森の家	…p20 ～ p21
シルバードームいきいきの郷	…p22 ～ p24
すこやか館合	…p25 ～ p27
児童発達支援事業「モモの家」	…p28
県南愛児園「ドリームハウス」	…p29
横手市サンハイム	…p30
障害者支援施設「ひまわり社」	…p31

1. 社会福祉法人ファミリーケアサービス

待遇格差と是正と責任に応じた待遇への再構築を目標に、給与及び組織体系について、平成30年度から引き継いだ課題として検討を重ねてきた。職員への説明会を開催し、一定の理解を得ることができたことに伴い、給与及び組織規程の改正を実施した。

働き方改革による年次有給休暇5日付与については、介護職員の体制不足上、介護現場の部署により休日の時間外対応をせざるを得ない状況であった。対応として介護職の確保が課題として残った。

10月の消費税増税に伴う特定介護職員処遇改善加算は取得した。

法人セミナーでは横手市社会福祉協議会との共催し、新たな展開において実施できた。

2. 特別養護老人ホームすこやか横手

年度途中において介護職員の退職等があり、体制が整わずに利用者への十分な関わりができないという思いを抱く職員もいたが、現体制下で工夫をしながら行事を開催するなど、利用者への影響を軽減することに努めた。

一方で、皮膚トラブルの発生やケガに至るケースがみられた。体制が不十分な中での焦りや技術的な面が要因として考えられた。そのためケアの見直しを行い、繰り返しが起こらないように努めた。

サービスの向上のために、介護職員の体制を整えると共に、職員の指導・育成を図ることが今後の課題として残った。

<提供目標と実績（定員50名）>

目標 年間延べ17,520人(48.0人/日 稼働率96.0%)

実績 年間延べ17,230人(47.2人/日 稼働率94.2%)

<要因>

上半期は退去者数が多く利用率が伸び悩んだが、下半期は退去者数が少なく安定的な利用率を一定程度維持したが、年度末には退去者が複数重なった事と合わせて感染症の蔓延により新規入居者の受け入れが進められなかった為。

3. ショートステイすこやか横手（介護予防）

安心、安全、快適な利用を目標として、新規利用者の定着やサービス計画書に基づく継続性のあるケアに努めた。しかし、職員体制不足に伴う慌ただしさや、職員間のコミュニケーション不足、伝達内容の捉え方の違い等で同様のインシデント発生が繰り返された部分があった。職員体制の整備と共に、コミュニケーションの強化、伝達内容の理解・捉え方の確認と定期的な対応策実施の評価等が次年度の課題といえる。また、利用者の余暇活動については、特養との合同行事やカラオケ、制作活動等を行ったが、十分とはいえず引き続き内容・実施方法を検討しながら、充実した利用への支援をしていきたい。

<提供目標と実績>

目標 年間延べ6,716人(18.4人/日 稼働率92.0%)

実績 年間延べ6,535人(17.9人/日 稼働率89.2%)

<要因>

下半期、入院や施設入所等での空床に対し、職員体制不足から新規利用者の受け入れを控えたことや、ユニット内工事、感染症対策に伴う居室利用制限等もあり目標値の利用率には至らなかった。

4. ケアハウスすこやか横手

入居者の自主性を尊重した生活ができるように、家族や各関係機関（東部包括・居宅介護支援事業所・訪問介護・訪問リハビリ）との連携、協力のもとで生活ニーズに合わせたサービス提供をすることができた。

また、認知症の方の増加により（金銭管理、内服管理、入浴など）、訪問介護を利用しなければいけない入居者が増加した。平均入居年齢が86才、最高齢100才、筋力低下・認知症の進行が懸念されつつも認知症予防への取り組みや筋力維持予防の体操を定期的に行い活動的な時間の提供ができた。地域との関わりでは、新規ボランティア（健康体操・健康講話）や横手警察署によるオレオレ詐欺予防講座などを実施して、地域とのつながりを広げることができた。

5. 老人介護支援センターすこやか横手

地域に住む高齢者やその家族、また高齢者以外の方々に対しても個々のニーズに合った在宅支援サービスが適切に受けられるよう、各関係機関と連携を図りながら各種サービスの紹介や必要とするサービスにつなげることで、対象者への自立支援が図られている。また、相談の多くは介護サービスに関することだが、居宅介護支援事業所も併設しているため、切れ目のない支援体制ができている。

6. すこやか横手居宅介護支援センター

事業所自己評価の実施、事業所内学習会及び他居宅介護支援事業所との共同事例検討会などの実施を通じて質の高いケアマネジメントの提供や自ら提供するサービスの質の向上につながっている。それが個々の評価ひいては事業所全体の評価につながっていくものと考え、良い機会となっている。

年々、単身世帯・高齢者世帯の増加や家庭環境の複雑化などにより介護協力が望めないケースや入院期間短縮のため早急な対応を必要とするケースが増えている。様々なケースに対応していくためにも援助技術や支援体制方法の取得、制度への理解が課題となっている。

<提供目標と実績>

目標：介護給付 170 件／月 予防給付 20 件／月
実績：介護給付 160 件／月 予防給付 25.8 件／月

<要因>

新規届け出件数26件だったが、死亡や入所が31件。入れ替わりが多く、安定的な給付管理には至らず収入実績が減少した。

7. デイサービスセンターすこやか横手（第1号通所）

利用者・家族・地域とのつながりを大事にしながら、満足していただくようサービス提供

に努めた。その一つとして新たなボランティア団体の積極的な受け入れをし、利用者が笑顔で過ごす時間を多くすることができた。また、利用者への関わりを多くするため、記録等の効率化を図った。

職員の退職により、職員体制上2月より日曜日を休業にしている。日曜日を利用していた利用者の中で1名以外は曜日の変更で対応し、大きく利用者や家族に迷惑かけることは避けられた。

<提供目標と実績（定員30名）>

目標 年間延べ 6,200人(16.9人/日 利用率56.6%)
実績 年間延べ 5,398人(14.8人/日 利用率50.4%)

<要因>

介護職員の退職に伴う補充ができず、送迎業務や新規利用者獲得の制限ができてしまい登録人数の低下につながった。また、複数回利用されている方がショートステイや体調不良で長期間利用されなかったことも利用率低下の要因である。

8. すこやか横手ホームヘルプステーション

介護職員不足の解消と経営改善への対応として、平成29年8月1日から事業を休止する。現在も休止中。

9. 特別養護老人ホームすこやか大雄

職員体制が十分に整っているとは言えないが、前年度、前々年度に比べると安定した体制でサービスの提供を行える事ができ、会議や研修、行事等の取り組みも計画通り実施する事ができた。

また、今年度、めでたく百歳を迎えられた入居者がおり、家族も参列し、ささやかながらお祝いのセレモニーが実施できた。

<提供目標と実績（定員50名）>

目標 年間延べ 17,385名(47.5名 利用率95.0%)
実績 年間延べ 17,379名(47.5名 利用率94.9%)

<要因>

入居待機者の状態把握に努め、比較的速やかに入居調整を実施することが出来、概ね目標通りに推移した。

10. ショートステイすこやか大雄(介護予防)

年間を通して職員が不足した状態であったが、円滑かつ生活リズムを尊重したサービス提供に努めた。

また、実施する機会が少なかったが、季節の行事や収穫等を利用者で行うことができた。

<提供目標と実績（定員10名）>

目標 年間延べ 3,650名(10.0名 利用率100.0%)
実績 年間延べ 3,539名(9.7名 利用率96.6%)

<要因>

30年度より新規利用者の確保に努めてきた。今年度は定期利用者の冬季間の長期利用が多く、年度後半に利用増が見られたが、年間を通しての利用率が伸びず目標を下回った。

1 1. 老人介護支援センターすこやか大雄

相談窓口業務において、施設入所関係が殆どであった。

ケア会議・小ネットワーク会議等へ参加し地域状況の把握に努めた。

また、大雄支えあいネットの構成員として会議に参加し、協議体活動への協力を行った。

<活動実績>

内 容 大雄地区ケア会議出席(毎月開催)

大雄地区小ネットワーク会議出席

(大雄地区20ヶ所実施 / 18ヶ所へ出席)

大雄支えあいネット(大雄地域第2層協議体)構成員として参加

<相談実績>

相談件数：186件(施設入所関係 186件)

1 2. 特別養護老人ホームすこやか森の家

今年度は、多くの入居者の最期に向き合えたことで、個々の思いを尊重した支援に触れることができ、多種職で入居者の一日を支えるためのチーム作りや自ら動くことの大事さや責任を入居者から学ばせていただいた年であった。

また、職員の質の向上については、喀痰吸引等の研修参加に力を入れスキルの向上を図り、新任職員の研修については時間を要しているが、より安全な援助ができるようレベルにあった指導を行いながら成長を促すことができた。前年度の課題であった中堅職員の育成については、継続的な研修や会議等は実施できず、引き続き重点課題としてとらえていくこととする。

<提供目標と実績(定員30名)>

目標 年間延べ10,680人(29.2人/日 利用率97.2%)

実績 年間延べ10,047人(27.5人/日 利用率91.4%)

<要因>

入居者の入院・退居者が例年になく多く見られた。

利用料提示時に断る家族が多く見られ、入居者選定に手間取った。

ノルウェー疥癬の発症により入居に向けて動けない時期があった。

1 3. ショートステイすこやか森の家(介護予防)

認知症の利用者への対応については、コミュニケーション不足や利用後の状態把握不足により、適切な対応に至らない場面もあったが、コミュニケーションを図りながら、落ち着ける環境作りやレクリエーションの提供等の機会も増え、気分転換を図りながら対応ができた。

職員の質の向上については、経験年数に見合ったスキルに応じて個々に課題はもっているが、意識づけが不十分であった。今後、よりコミュニケーションを図りながら、相談し

合える環境を整え、お互いに理解してケアに当たれるよう努めていくこととする。

<提供目標と実績（定員20名）>

目標 年間延べ 6,756人(18.5人/日 利用率 92.5%)

実績 年間延べ 6,572人(18.0人/日 利用率 89.7%)

<要因>

長期利用者の入院や退所、体調不良による利用キャンセルが目立った。

夏期の新規利用希望者が少なく、利用調整に難航した背景があった。

14. デイサービスセンターすこやか森の家（第1号通所）

年度途中の退職に伴い職員体制が不十分であったが、職種間の協力により大幅な利用率の減少はなく調整できた。

職員の質の向上については、職員の接遇マナーを意識した対応はしてきたが、利用者や家族との関係が馴れ合いとなり、不適切と感じられる言葉遣いも見られた。

しかし、介護技術については、会議で定期的に勉強会を開き、利用者の状態に合わせた職員の介護技術の向上や知識の向上が図られ、今後も地域に信頼される事業所を目指し、取り組んでいきたい。

<提供目標と実績（定員25名）>

目標 年間延べ 6,205人(17.0人/日 利用率 68.0%)

実績 年間延べ 5,908人(16.1人/日 利用率 64.5%)

<要因>

利用者の平均年齢も高く、死去による利用廃止が目立った。

ショート利用が増加した。

介護職員の退職により補充から体制が安定するまで時間を要した。

15. 特別養護老人ホームシルバードームいきいきの郷

職種間連携のもと入居者の健康管理を徹底することにより入院率が抑えられ、退去者も例年より少なく、高い利用率を維持することができた。また各団体のボランティアや学校の職場体験学習や介護実習を積極的に受け入れる事で地域との関わりを強く結ぶ事ができた。

<提供目標と実績（定員50名）>

目標 年間延べ 17,337人(47.5人/日 利用率 95.0%)

実績 年間延べ 18,093人(49.4人/日 利用率 98.8%)

<要因>

嘱託医との連携ときめ細かな医療処置及び介護により、入院率を抑えることができた。

16. ショートステイシルバードームいきいきの郷（介護予防）

特養併設施設の特性を生かし、行政、各事業所との連携も密に行い緊急性、困難性の高い利用者の積極的な受け入れを行った。特に痰吸引等医療的な要望に答える事で、新規依

頼の件数が増えたものの、定期利用者の他施設への入所や入院が続き利用率を下げってしまった。今後、効率的な入所調整と更なる高水準なサービスの提供に向けて取り組んでいきたい。

<提供目標と実績（定員 11 人）>

目標 年間延べ 3,623 人（9.9 人/日 利用率 90.0%）

実績 年間延べ 3,360 人（9.2 人/日 利用率 83.4%）

<要因>

体調不良や入院によるキャンセルが多く、利用調整が難しかった。

17. デイサービスセンターシルバードームいきいきの郷（第1号通所）

居宅支援事業所等への働き掛けを随時行い、新規利用者も積極的に受け入れ、ほぼ目標を達成できた。職員の質、チーム力の向上については、年間を通して認知症ケアの学びを深め、デイサービス単独での施設内研修を 8 回実施することができた。大きな事故やケガをする利用者はいなかったが、それに繋がるような場面が見られている為、防止や予防に繋げていけるような活動を実施していきたい。

<提供目標と実績（定員 18 名）>

目標 年間延べ 4,465 人（14.4 人/日 利用率 80%）

実績 年間延べ 4,419 人（14.1 人/日 利用率 78.1%）

<要因>

年間を通して入院者が多く、空きのある曜日の利用を埋めることができなかった。

18. 増田町居宅介護支援事業所

平成 24 年度から年度毎に担当利用者の人数は増加しているものの目標の件数にはわずかに届かなかった。より質の高い居宅介護支援を提供できるよう定期的に事例検討や、他法人との勉強会、研修会企画等を行い、地域貢献事業として「身近な福祉の出前講座」をいきいきサロンから依頼を受け、講師として派遣している。ケアマネジャーの業務のみならず、地域の福祉力や介護力の醸成を目的として地域にある集いに出向き地域交流をしていきたい。

<提供目標と実績>

目標 104.2 件/月

実績 103.8 件/月

<要因>

介護予防の方の新規依頼が多かった。

19. 増田町在宅介護支援センター

地域の高齢者等から、様々な相談に総合的に応じ、必要に応じた各種の保健・福祉サービスが受けられるように関係機関と横断的連携により住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように支援を行った。また、相談窓口自ら相談することができない住民に、

積極的に地域へ出向いていきながら、行政や社会福祉協議会、病院等と連携することで虐待の対応、複合世帯ニーズ・孤立している世帯・経済的困窮者等の支援を行なった。

引き続き、横手市地域包括支援センターのブランチ（横手市からの受託事業）として、地域の要援護高齢者及びその家族の福祉の向上を図っていきたい。

20. 特別養護老人ホームすこやか館合

基本方針にある職員信条に沿った対応を心掛け、目標にもある入居者の尊厳を守り安全に過ごしていただけるように努めている。各ユニットのサービスコンセプトは見直し、より入居者の尊厳ある生活に特化したものとし、職員個々に意識して対応することができていた。

地域密着型の特養として実施している、地域交流会や地域との合同の夏祭り等により、地域住民の方に施設の活動について知っていただくとともに入居者にとっても家族や地域住民の方との積極的な交流の場面としてとても効果的であった。地域との関わりの中で、施設運営に関するニーズ把握もできるため、今後も継続して地域と施設の関わりを増やしていきたい。

重点課題にもあるリスクマネジメントにおいては、事例の分析と評価を確実にを行い、具体的な対応策の検討と実施を行うことによって、大きな事故なく経過している。職員研修の場면을有効に活用し、職員の知識向上や事故啓発に努めていきたい。

<提供目標と実績（29名）>

目標 年間延べ 10,162 人(27.8 人/日 利用率 96.0%)

実績 年間延べ 9,725 人(26.6 人/日 利用率 91.5%)

<要因>

入退所件数としては、ともに6件ずつではあったが、目標に比べ空床率が高くなっている。入居調整については、事前の準備を円滑に行い、速やかに入居出来るよう調整していきたい。また、入院期間は長くなる傾向にあったが、日々の医療面のケアを充実させていきたい。

21. ショートステイすこやか館合

サービスコンセプト「よりそい」に沿って利用者との信頼関係等の関係性の構築が出来、安心感のあるサービス提供ができている。利用者個々の状況に合わせ、個別ケアに重点を置き、職員間での統一したケアの実施に努めている。

重点課題にも挙げている安定した稼働の確保について、定期利用者の獲得のため、各居宅支援事業所との連携を図ってはいるが、定期利用に結びつかないケースも多くあった。空室状況の提供等、さらに連携を図れるよう取り組んでいきたい。

障害者福祉サービスの利用者受け入れ実績がなかったが、問い合わせ等には柔軟に対応できるように、今後も相談支援事業所との連携を図りながら、円滑に受け入れを進めていきたい。

<提供目標と実績（20名）>

目標 年間延べ 5,840 人(16.0 人/日 利用率 80.0%)

実績 年間延べ 4,830 人(13.2 人/日 利用率 65.9%)

<要因>

長期利用の方の体調不良による入院や特養入所による減少、定期利用者の定着が進まなかった事が要因として挙げられる。

2 2. 小規模多機能型居宅介護事業所すこやか館合（介護予防）

基本方針「楽しく、優しく、すこやかに」を職員信条として、目標である「安心できる地域生活の実現」に努めた。

重点課題「利用者が地域において多様な活動が出来るように支援する。」については、地域交流会を開催時に、ともに参加する事で交流を深めた。

ADLが低下された利用者や独居の利用者に対しては、訪問サービスを提供しながら、在宅生活継続への支援を行った。

<提供目標と実績(登録定員 25 人)>

目標 月間登録者数 17.0 人(利用率 68.0%)

実績 月間登録者数 17.3 人(利用率 69.0%)

<要因>

年度当初登録者18名から開始し、11月まで平均18名の登録があったが、12月以降、入院や施設入所、他サービスへの移行等があり、登録者数が減少。

新規相談があるも主に長期の宿泊希望だったため、サービス利用に繋がらなかった。

2 3. 居宅介護支援事業所すこやか館合

基本方針である「要支援・要介護状態になった利用者とその家族が、住み慣れた自宅や地域で自立した生活を営む」が実現できるよう、其々のニーズを把握すると共に、地域包括支援センターや医療機関、サービス提供事業所等と連携を図りながら支援を行なうよう努めた。

重点課題の「地域に密着した事業の展開」については、地域主体の事業や地域ケア会議等に積極的に参加し、事業所の周知に努めた。

利用者一人ひとりのニーズや環境に応じて、利用者の選択に基づき適切なサービスを効率的に提供するように努めた

<提供目標と実績>

目標 介護給付管理 月間 64.0 件

実績 介護給付管理 月間 55.5 件 介護予防支援計画 月間 17.5 件

<要因>

新規契約 17 件（うち介護予防 6 件）に対し、施設入所や永眠等による契約終了が 8 件であった。新規契約については、地域の方や、現担当利用者の家族等より紹介されたケースがほとんどであった。西部地区全体としては新規依頼が減少しているという状況ではあるが、今年度は新規の契約も順調で目標を達成することが出来た。

2 4. 児童発達支援事業「モモの家」

令和元年度の在籍児童数は 67 名で、内訳は 6 歳児 27 名、5 歳児 19 名、4 歳児 12 名、3 歳児 7 名、2 歳児 2 名であった。新入園児は 29 名で、昨年度に比べて 11 名多か

った。昨年度までと同様、保健センターからの紹介が主であった。

個別支援計画の作成にも重点を置き、児童一人一人の特性や保護者の願いに応じた内容を目指し、保護者との対話を重視した。また職員間で情報を共有し、対応が一貫したものになるよう努めた。

7月には横手支援学校・支援部の藤谷淳一先生を講師として、昨年度に続き第2回目の「保護者学習会」を行い14名の保護者が参加した。就学への準備として参考になる内容が多く、保護者からも活発に質問が出るなど大変有意義な学習会となった。

年5回開催した健康相談では、今回初めて法人の産業医でもある榊田理恵先生に講師を依頼（2月）し、「子どもの心療内科外来」という普段あまり知ることができない分野について分かりやすい内容でお話をいただいた。

保護者が安心して療育を受け、豊かな生活を送れるよう、保護者の不安や心配に耳を傾けながら、職員全体でより具体的な支援の提供に努めた。

<提供目標と実績（定員10名）>

目標 年間延べ 2,106人（9.0人／日 利用率 90.0%）

実績 年間延べ 1,675人（7.2人／日 利用率 72.0%）

25. 県南愛児園「ドリームハウス」

2019年度は、本園26名、地域小規模児童養護施設6名、合計32名でスタートしたが、年度後半に1名の児童が家庭復帰、1名が他施設への措置変更、2名が自立することができた。また年度中に4名の入所もあった。短期利用等において、ショートステイ延べ日数18日、レスパイトケア延べ日数5日、緊急一時保護延べ日数467日（依頼件数16件）という状況だった。入所には至らないが相談や依頼といったケースが増加している。入所児童の課題も複雑多岐にわたり、施設機能の強化や職員の支援技術の向上が求められた。当園ではここ数年、短期利用や一時保護といった福祉課題に直面しており、これらの地域子育て支援の対応が求められ、各専門職を中心に近隣市町村や外部機関に派遣し対応することができた。

法律上、児童養護施設はできる限り良好な家庭的環境で養育するための必要な措置を講ずるよう、指針が出されていることを受けて、横手市と施設の改築及び民営化等今後の施設のあり方について協議を行った。次年度も引き続き協議していくことになる。

26. 横手市サンハイム

2019年度は、在籍世帯が9世帯という大変厳しいスタートとなった。しかしその後、年度中に6世帯の退所があったものの、当施設のホームページを見たという方からメールで相談や問い合わせがあったり、DVなどの暴力被害による入所依頼が増加し11世帯の入所を受け入れ14世帯まで増えた。

県内外の遠方から避難してくる世帯が多く、離婚に向けての手続きや精神的ケア、生活用品や衣類を十分に持たないままの入所となった世帯がほとんどだったので、生活用品や電化製品を貸し出して支援してきた。又、離婚に向けての手続きや精神的ケア、慣れない土地での生活をスタートさせるため、生活基盤を整えて安心して暮らせるよう入所初期に多くの時間と労力を要する支援が必要な世帯が断続的に重なった。更に、乳幼児を持つ世帯の増加と初めて妊婦を受け入れたことから、保育園選びや就労支援、日常生活においても様々な場面での細やかな支援が求められた。

食事の楽しさを共有したいという思いなどから始まった“サンハイムこども食堂”の定

期開催も4年目となり、ボランティアや地域の方々に支えられ根付いてきたところである。

11月には、3回目となる福祉サービス第三者評価を受審した。支援の柱である自立支援計画に対する支援の取り組みを評価していただいたことは今後の励みとし、課題に対してはより良い施設運営ができるよう今後も努力していきたい。

27. 障害者支援施設「ひまわり社」

重点課題の生活介護における文化活動の充実では、機能訓練を目的に外部指導者による3B体操を取り入れた。また、就労支援での工賃アップの取り組みでは、新たな作業への取り組みができず現状に留まった。

相談支援では、個別の相談に時間を要する利用者への対応により、計画にそったモニタリングが実施できなかった。

利用定員の関係上、利用者の登録に変化が少なく、利用者が固定し、環境が安定しているが、反面、活動の転換を行いつらい面があり、新たな活動に対する課題がある。

資料内の用語について

※インシデント報告

事故、ヒヤリハット、苦情、不満、意見等の事例（インシデント）に関する報告。

※ヒヤリ・ハット

危険な目に遭いそうになって、ひやり（ヒヤリ）としたり、はっと（ハット）したりすること。重大な事故に発展したかもしれない危険な出来事。

施設別利用実績

区分	施設	定員	利用率目標 (%)	年間延利用数 (人)	1日平均 (人)	利用率 (%)
特養	すこやか横手	50	96.0	17,230	47.1	94.2
	すこやか大雄	50	95.0	17,379	47.5	94.9
	すこやか森の家	30	97.2	10,047	27.5	91.4
	いきいきの郷	50	95.0	18,093	49.4	98.8
	すこやか館合	29	96.0	9,725	26.6	91.5
計		209		72,474	198.01	94.1
ショートステイ	すこやか横手	20	92.0	6,535	17.9	89.2
	すこやか大雄	10	100.0	3,539	9.7	96.6
	すこやか森の家	20	92.5	6,572	18.0	89.7
	いきいきの郷	11	90.0	3,360	9.2	83.4
	すこやか館合	20	80.0	4,830	13.2	65.9
計		81		24,836	67.87	84.9
デイサービス	すこやか横手	30	56.6	5,398	14.8	49.1
	すこやか森の家	25	68.0	5,908	16.1	64.5
	いきいきの郷	18	80.0	4,419	14.1	78.1
計		73		15,725	44.96	63.9

資料1 すこやか横手

特別養護老人ホーム

1. 年齢階層（令和2年3月31日現在）

平均： 男性 84.5 歳 女性 89.0 歳

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100～歳	合計
男	0	0	2	0	1	0	2	1	0	6
女	1	2	0	2	4	11	8	10	3	41
合計	1	2	2	2	5	11	10	11	3	47

2. 入居期間別状況（令和2年3月31日現在）

	～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5年～	合計
男	2	1	1	1	0	2	6
女	5	6	7	6	1	16	41
合計	7	7	8	7	1	18	47

3. 要介護度（令和2年3月31日現在） 平均 4.17

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	3	0	3	6
女	1	1	6	14	19	41
合計	1	1	9	14	22	47

4. 退居理由（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	3	0	3
女	0	7	1	8
合計	0	10	1	11

5. インシデント年間集計（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

分類別報告数

事故	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
11	86	1	0	108	206

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
34	22	3	15	6	2	73	5	3	1	41

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

ショートステイ

1. 延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	530	558	525	554	559	532	574	553	572	548	531	499	6535
平均介護度	3.59	3.61	3.56	3.69	3.67	3.63	3.61	3.61	3.63	3.66	3.66	3.41	3.61

2. インシデント年間集計（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

分類別報告数

事故	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
15	7	2	0	19	43

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
15	6	1	2	1	1	6	0	1	0	8

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
2	0	0	0	0

ケアハウス

1. 入居・退去状況

① 平均在籍期間（令和2年3月31日現在）

在籍年数	1~6ヶ月	1~2年	3~4年	4~5年	6~7年	8~9年	10年~	平均
人数	2	4	1	2	4	2	0	4.2

② 年度内在籍数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延人数
男	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
女	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
計	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180

老人介護支援センター

1. 相談件数 種別

相談件数	重複あり												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	3	4	2	2	3	4	4	4	2	3	2	4	37
継続相談	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

相談経路

相談経路	重複あり												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4
電話	1	2	1	1	2	3	3	3	1	1	2	4	24
来所	1	2	1	0	1	1	0	1	1	2	0	0	10

相談種別

相談種別	重複あり												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	3	4	1	1	3	4	4	4	2	3	2	4	35
福祉事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
各種申請代行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あんしんバトン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
高齢者虐待	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

居宅介護支援センター

1. ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	23.5	36	38	42	37	36	37	36	37	38	36	37	42	452
2	29.0	47	47	49	51	50	49	49	41	41	45	44	44	557
3	20.4	32	33	34	31	30	26	36	33	35	33	34	35	392
4	15.7	27	26	25	25	22	25	27	25	26	26	23	25	302
5	11.4	22	20	23	21	20	18	17	16	16	17	15	14	219
合計	100	164	164	173	165	158	155	165	152	156	157	153	160	1922

(予防プラン・認定調査件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	29	29	27	26	26	27	25	23	25	23	26	26	310
認定調査	在宅	10	1	4	1	6	5	8	6	4	13	4	15	77
	施設	2	0	0	0	2	4	5	2	1	3	3	1	23
	合計件数	12	1	4	1	8	9	13	8	5	16	7	16	100

デイサービス

1. 延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	486	499	468	504	477	417	463	433	432	435	385	399	5398
平均介護度	2.2	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5	2.4	2.4	2.38

2. インシデント年間集計（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
1	45	14	1	0	0	59

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬等	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
10	5	0	1	0	4	7	1	1	8	21

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	1	0	0

ホームヘルプステーション 休止中

資料2 すこやか大雄

特別養護老人ホーム

1. 年齢階層（令和2年3月31日現在）

平均：男性 84.2 歳 女性 87.6 歳

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100～歳	合計
男	0	1	1	1	1	6	2	0	0	12
女	1	1	1	1	5	10	12	4	1	36
合計	1	2	2	2	6	16	14	4	1	48

2. 入居期間別状況（令和2年3月31日現在）

	～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5年～	合計
男	1	4	3	1	0	3	12
女	7	13	3	4	3	6	36
合計	8	17	6	5	3	9	48

3. 要介護度（令和2年3月31日現在） 平均 4.29

	1	2	3	4	5	合計
男	0	1	2	4	5	12
女	0	0	4	15	17	36
合計	0	1	6	19	22	48

4. 退居理由（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	0	0	0
女	1	8	0	9
合計	1	8	0	9

5. インシデント年間集計（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

分類別報告数

事故	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
2	92	4	0	5	103

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
3	23	10	11	12	2	19	0	2	1	23

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
4	0	0	0	0

ショートステイ

1. 延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	266	234	286	323	292	302	292	250	317	323	313	341	3539
平均介護度	2.96	2.77	2.86	2.83	2.56	2.64	2.49	2.75	2.40	2.51	2.42	2.42	2.63

2. インシデント年間集計（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

分類別報告数

事故	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
1	31	2	0	5	39

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
5	12	3	1	0	1	2	1	0	1	13

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
2	0	0	0	0

老人介護支援センター

1. 相談件数 種別

相談件数

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	24	7	14	7	18	11	15	23	15	15	20	17	186
継続相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

相談経路

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来所	24	7	14	7	18	11	15	23	15	15	20	17	186

相談種別

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設入所	24	7	14	7	18	11	15	23	15	15	20	17	186
各種申請代行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あんしんパト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料3 すこやか森の家

特別養護老人ホーム

1. 年齢階層（令和2年3月31日現在）

平均： 男性 90.0 歳 女性 87.6 歳

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100～歳	合計
男	0	0	0	0	1	0	3	0	0	4
女	1	0	1	1	3	7	9	4	0	26
合計	1	0	1	1	4	7	12	4	0	30

2. 入居期間別状況（令和2年3月31日現在）

	～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5年～	合計
男	3	0	0	1	0	0	4
女	7	1	1	5	2	10	26
合計	10	1	1	6	2	10	30

3. 要介護度（令和2年3月31日現在） 平均 4.10

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	0	2	2	4
女	0	2	4	11	9	26
合計	0	2	4	13	11	30

4. 退居理由（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	3	0	3
女	0	7	0	7
合計	0	10	0	10

5. インシデント年間集計（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

分類別報告数

事故	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
1	85	2	0	0	88

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
4	1	5	9	4	4	13	0	0	10	36

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
2	0	0	0	0

ショートステイ

1. 延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	534	507	561	521	482	524	582	575	589	569	547	581	6572
平均介護度	2.91	3.07	3.04	3.14	3.24	3.23	3.21	3.16	3.05	3.32	3.19	3.13	3.14

2. インシデント年間集計（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

分類別報告数

事故	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
1	76	0	0	0	77

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
15	5	0	3	2	2	6	2	0	13	29

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

デイサービス

1. 延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	501	492	511	473	488	495	515	502	501	475	465	490	5908
平均介護度	2.27	2.24	2.28	2.25	2.36	2.40	2.45	2.38	2.29	2.29	2.27	2.28	2.31

2. インシデント年間集計（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
0	34	4	0	0	38	0

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬等	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
8	4	2	0	0	4	1	0	0	4	11

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
4	0	0	0	0

資料4 シルバードームいきいきの郷

特別養護老人ホーム

1. 年齢階層（令和2年3月31日現在）

平均：男性 81.9 歳 女性 87.9 歳

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100～歳	合計
男	0	1	1	0	1	5	0	0	0	8
女	0	2	1	4	10	3	12	8	0	40
合計	0	3	2	4	11	8	12	8	0	48

2. 入居期間別状況（令和2年3月31日現在）

	～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5年～	合計
男	2	1	1	1	1	2	8
女	5	12	7	1	4	11	40
合計	7	13	8	2	5	13	48

3. 要介護度（令和2年3月31日現在） 平均 4.78

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	1	2	5	8
女	0	0	1	3	36	40
合計	0	0	2	5	41	48

4. 退居理由（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	2	0	2
女	0	7	0	7
合計	0	9	0	9

5. インシデント年間集計（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

分類別報告数

事故	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
0	88	0	0	0	88

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
19	0	9	2	15	0	41	0	0	0	2

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

ショートステイ

1. 延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	273	291	275	249	266	274	301	280	281	280	276	314	3,360
平均介護度	3.6	3.7	3.4	3.4	3.6	3.7	3.9	4.0	3.7	3.7	3.6	3.6	3.7

2. インシデント年間集計（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

分類別報告数

事故	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
1	35	1	0	0	37

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
21	0	5	2	0	0	7	0	0	0	1

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

デイサービス

1. 延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	374	386	359	380	363	370	387	380	347	338	348	387	4419
平均介護度	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.5	2.3	2.4	2.4	2.3	2.4	2.39

2. インシデント年間集計（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
0	29	1	0	0	30	0

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬等	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
15	0	0	0	0	0	12	0	0	0	2

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

居宅介護支援センター

1. ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	22.3	21	22	20	20	23	22	22	21	21	21	21	19	253
2	37.4	40	41	37	34	32	32	34	35	34	35	35	35	424
3	22.8	23	23	24	23	23	23	21	20	20	21	19	19	259
4	9.8	8	7	8	10	11	11	11	10	9	9	8	9	111
5	7.7	7	6	7	8	7	7	7	6	7	8	8	9	87
合計	100	99	99	96	95	96	95	95	92	91	94	91	91	1134

(予防プラン・認定調査件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	7.5	7.5	7.5	8	7.5	7.5	9.5	9	10.5	9.5	9	10.5	103.5
認定調査	在宅	10	4	5	3	7	6	2	3	6	4	7	8	65
	施設	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	合計件数	11	4	5	3	7	6	2	3	6	5	7	8	170.5

老人介護支援センター

1. 相談件数 種別

相談件数

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	4	1	2	1	1	0	7	3	1	2	8	1	31
継続相談	0	3	4	1	8	1	0	7	1	4	6	0	35

相談経路

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	1	2	4	1	5	0	5	3	0	3	12	0	36
電話	1	2	0	1	4	1	1	7	2	3	2	1	25
来所	2	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5

相談種別

重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	3	4	4	0	1	0	7	3	0	4	9	1	36
福祉事業	0	0	1	0	0	0	0	5	0	3	7	0	16
医療・入院	0	0	3	2	6	0	0	2	2	3	4	0	22
施設入所	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	4
各種申請代行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あんしんバトン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	4
高齢者虐待	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	6
その他	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2	2	0	7

資料5 すこやか館合

特別養護老人ホーム

1. 年齢階層（令和2年3月31日現在）

平均：男性 89.3 歳 女性 91.8 歳

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100～歳	合計
男	0	0	0	1	0	1	0	0	1	3
女	0	0	0	0	2	4	10	8	0	24
合計	0	0	0	1	2	5	10	8	1	27

2. 入居期間別状況（令和2年3月31日現在）

	～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5年～	合計
男	2	0	0	0	1	0	3
女	6	3	6	3	3	3	24
合計	8	3	6	3	4	3	27

3. 要介護度（令和2年3月31日現在） 平均 4.18

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	0	2	1	3
女	0	0	4	13	7	24
合計	0	0	4	15	8	27

4. 退居理由（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	1	2	3
女	0	2	1	3
合計	0	3	3	6

5. インシデント年間集計（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

分類別報告数

事故	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
0	102	2	0	0	104

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
1	5	2	8	9	3	17	0	14	9	34

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	1	0

ショートステイ

1. 延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	326	357	396	437	479	485	410	389	398	335	403	415	4830
平均介護度	2.77	2.80	2.87	2.93	2.76	2.84	2.85	2.45	2.38	2.16	2.25	2.50	2.63

2. インシデント年間集計（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

分類別報告数

事故	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
1	99	9	0	0	109

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
12	16	0	4	1	1	13	7	2	3	40

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
9	0	0	0	0

小規模多機能型居宅介護

1. サービス利用状況

利用実績内訳（介護給付）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	258	250	241	272	286	278	261	211	226	224	233	239	2979
泊り	137	106	82	91	94	104	100	68	100	100	104	102	1188
訪問	6	16	24	16	15	3	4	4	4	4	4	5	105

利用実績内訳（介護予防）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	96	103	99	111	83	81	100	108	104	92	68	59	1104
泊り	48	36	17	19	4	6	9	18	19	16	4	0	196
訪問	0	0	7	5	0	0	0	6	10	9	0	0	37

2. インシデント年間集計（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

分類別報告数

事故	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
1	75	5	0	0	81

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
1	6	0	4	0	3	6	1	3	4	5

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
5	0	0	0	0

居宅介護支援センター

1. ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	30.4	21	21	21	19	17	16	15	13	13	15	16	16	203
2	27.4	14	15	15	15	17	16	16	16	15	15	15	14	183
3	22.8	9	11	12	12	13	14	14	14	14	13	13	12	152
4	11.7	6	5	6	6	5	7	8	7	7	7	7	7	78
5	7.8	4	5	4	4	4	4	4	4	5	4	5	5	52
合計	100	54	57	58	56	56	57	57	54	54	54	56	54	667

(予防プラン・認定調査件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	15	16	18	18	17	18	18	20	19	18	17	17	211
認定調査	在宅	2	1	3	4	4	4	2	3	3	5	3	2	36
	施設	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	4
	合計件数	2	1	3	4	6	5	3	3	3	5	3	2	40

資料6 児童発達支援事業「モモの家」

1. 入退園状況（令和2年3月31日現在）（単位：人）

区分 性別	本年度入園 児童数	本年度卒退園児童数				計	次年度 へ移る
		普通	特学	支援学 校	その他		
男	50	10	8	1	1	20	30
女	17	5	1	2	0	8	9
計	67	15	9	3	1	28	39

2. 地域別通園状況 （令和2年3月31日現在）（単位：人）

地域 性別	横手	その他	計
男	50	0	50
女	17	0	17
計	67	0	67

3. 年齢別表（令和2年3月31日現在）（単位：人）

年齢 人数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	その他	合計
合計	0	0	2	7	12	19	27	0	67

4. 月別通園状況（令和2年3月31日現在）（単位：人）

月別 内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通園延 べ人数	85	126	136	145	132	130	177	140	141	149	164	179	1704
療育 日数	15	19	20	21	21	19	22	20	20	19	18	21	235
平均 人数	5.67	6.63	6.80	6.90	6.29	6.84	8.05	7.00	7.05	7.84	9.11	8.52	7.25

5. 障害の種別（令和2年3月31日現在）（単位：人）

障害別 性別	身体障害 者手帳有	診断名有 (知的障害)	診断名有 (自閉症スペ クトラム・注 意欠陥多動 障害等)	診断名有 (ダウン症・ てんかん等)	その他	合計
男	0	7	7	1	35	50
女	1	1	3	1	11	17
合計	1	8	10	2	46	67

資料7 県南愛児園「ドリームハウス」

1. 2019年度在籍状況（毎月1日現在）

本園

（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
26	25	27	27	26	26	27	27	27	27	28	28

（平均26.7人／月 利用率89.2%）

分園（地域小規模児童養護施設きずな）

（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

（平均6人／月 利用率100%）

2. 出身地別

（単位：人）

横手市	秋田市	仙北市	大仙市	湯沢市	由利本荘市	潟上市	羽後町	美郷町	合計
6	4	2	5	7	4	3	1	2	34

3. 入所理由別人数

（単位：人）

養育困難	3
児童の問題行動による養育困難	1
実母精神障害による養育困難	2
継父による身体的虐待	2
実母による虐待（ネグレクト）	1
実母による身体的虐待	2
両親による虐待（ネグレクト）	2
母精神障害によるネグレクト	2
実父による身体的、心理的虐待	4
棄児	1
実母による虐待（身体・心理他）	2
家庭内暴力・母身体的虐待	1
両親による身体的虐待	3
養育者死亡による養育困難	1
両親の低育児能力・ネグレクト	1
養育不安・母からの身体的虐待	1
保護者不在・養育困難	4
兄による性的虐待・母心理的虐待	1
合計	34

4. 学年別

（単位：人）

	男子	女子	計
幼児	1	3	4
小1	2	0	2
小2	0	3	3
小3	1	1	2
小4	0	1	1
小5	3	2	5
小6	3	2	5
中1	1	1	2
中2	0	2	2
中3	1	1	2
高1	1	1	2
高2	1	1	2
高3	1	1	2
無所属	0	0	0
計	15	19	34

資料8 横手市サンハイム

1. 在所世帯の入所年度

年度	26	27	28	29	30	1	計	平均
世帯数	2	0	0	2	1	9	14	1年6か月

2. 地域別在所数

地域別	横手市	秋田市	大館市	羽後町	能代市	湯沢市	県外	計
世帯数	6	1	1	1	1	1	3	14
人数	17	2	2	3	4	4	9	41

3. 入退所及び一時保護の状況

	入所世帯	退所世帯	一時保護
4月		1	
5月	2		1
6月	1	1	
7月			1
8月		1	
9月			
10月	2		
11月	1		1
12月	1	1	
1月	1		
2月	2	1	
3月	1	1	
合計	11	6	3

4. 世帯構成

家族数	2人	3人	4人	5人	計
世帯数	5	6	3	0	14

5. 母の年齢(人)

年齢	20代	30代	40代	50代	平均年齢
人数	5	6	3	0	33.7歳

6. 児童の年齢(人)

	乳幼児	小1～3	小4～6	中学生	高校生	その他	合計
男	10	4	1	2	0	0	17
女	5	1	1	0	3	0	10
計	15	5	2	2	3	0	27

資料9 障害者支援施設「ひまわり社」

1. 利用者延人数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	156	154	163	166	156	144	149	145	151	138	133	149	1804
就労B	229	209	225	247	208	226	251	233	261	238	220	260	2807

2. 利用者数（人）

性別	男性	女性	合計
生活介護	9	3	12
就労B	11	4	15

3. 障害種別（人）

	知的	身体	精神	合計
生活介護	12	5	0	17
就労B	10	4	2	16

※重複あり

4. 障害程度区分

区分	1	2	3	4	5	6	平均区分
生活介護	0	0	3	5	2	2	4.3
就労B	—	—	—	—	—	—	—

5. 日中一時支援事業 利用者延人数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日中一時支援	88	88	106	99	67	83	87	89	73	75	87	48	990

6. 相談支援事業利用者件数（新規・モニタリングを含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談支援（計画・児）	22	14	21	17	6	14	7	5	16	9	6	23	160

